

Ⅱ．碧南市における子育て支援の状況

(1) 基礎的条件

①人口・世帯

⇒近年は外国人登録者数の増加などから市の人口は微増傾向である。

⇒1世帯平均人数は2.92人で、毎年低下している。

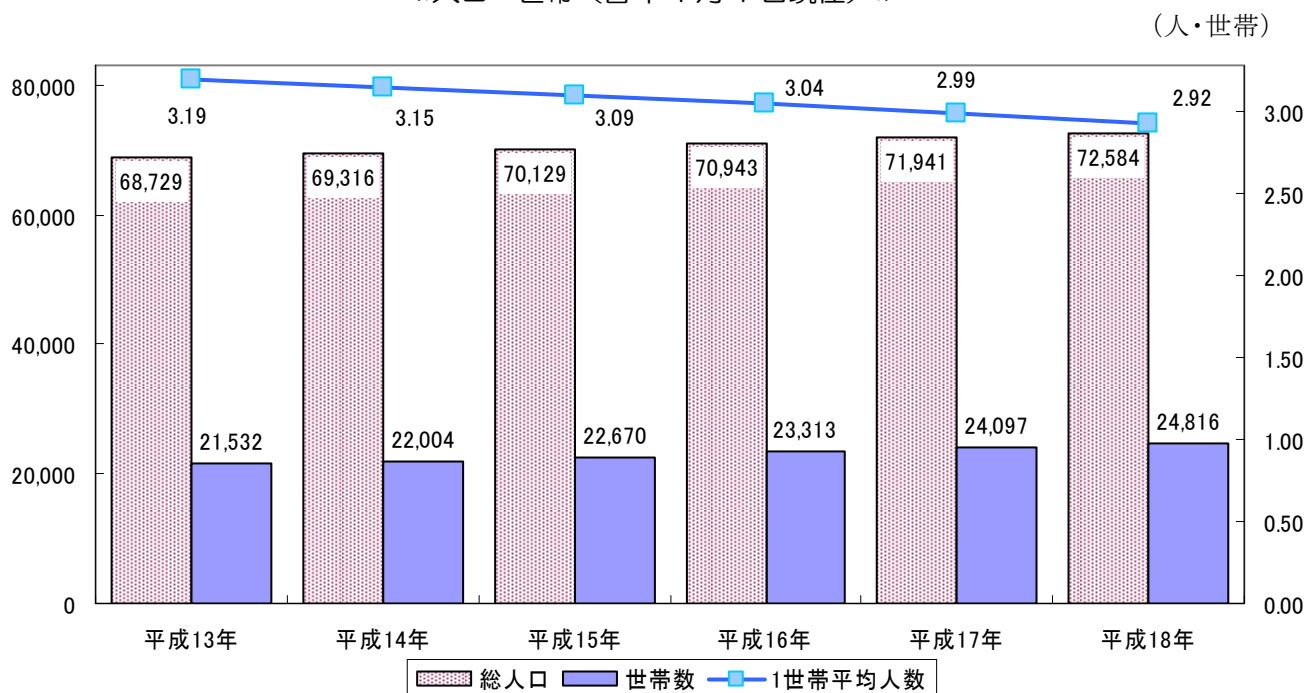
⇒高齢化率（17.6％）は圏域内では高い。少子・高齢化は徐々に進んでいる。

碧南市は、衣浦港を基盤として健康で緑ゆたかな港湾都市をめざして、碧南の風土、歴史、文化、産業を大切にしまちづくりを進めてきました。

碧南市の人口は平成13年には68,729人でしたが、平成15年に7万人を超えて平成18年は72,584人と、この6年間で5.6％増加しました。そのなかでは、外国人登録者数の増加が起因している状況がみうけられます。

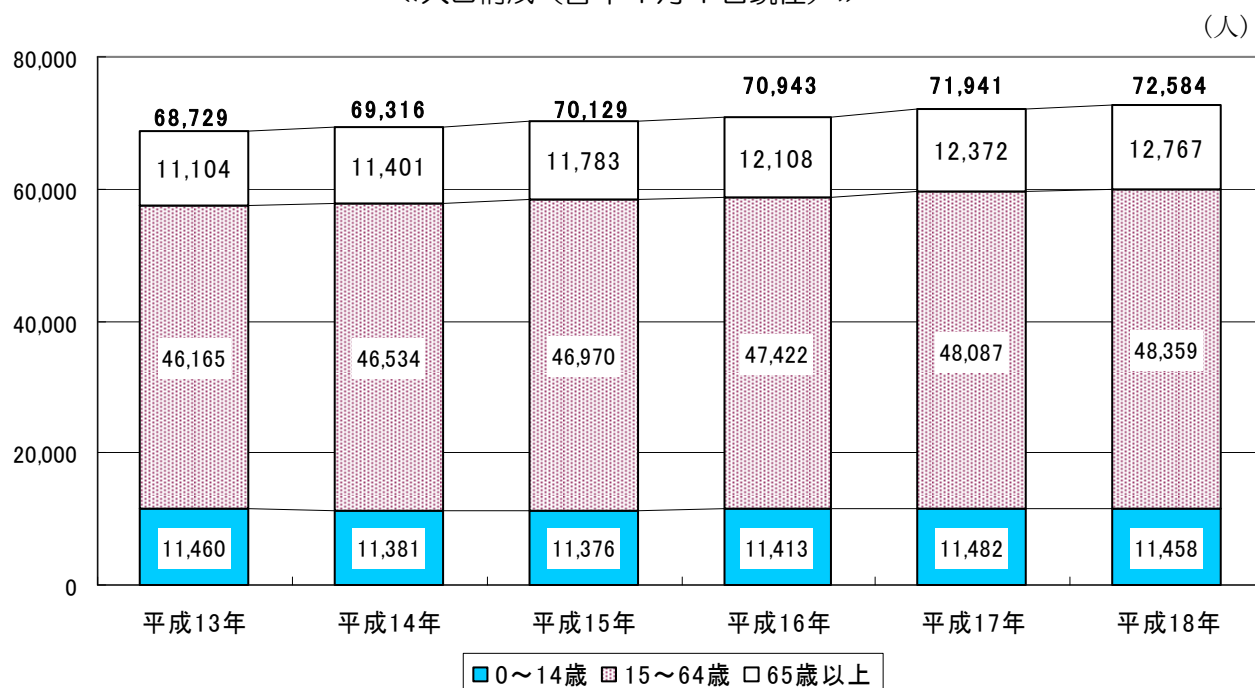
また、世帯数は平成13年が21,532世帯でしたが、平成17年には24,000世帯を超え、平成18年には24,816世帯と、6年間で15.3％増加しています。人口増よりも世帯数の増加率は高く、1世帯平均人数は年々減少し、平成17年には3人を割り、平成18年には2.92人となっています。全国平均（平成17年国勢調査2.58人）よりは平均世帯人数は多い状況ですが、本市においても核家族化が進んでいるといえます。

《人口・世帯（各年4月1日現在）》



3 区分の人口構成は 0～14 歳の年少人口比率が低下し、65 歳以上の高齢化率が上昇する傾向が続いており、高齢化率は全国平均（平成 17 年 10 月国勢調査 20.1%）に比べると低いものの、愛知県平均（平成 17 年 10 月国勢調査 17.2%）よりは高く、本市においても少子化・高齢化が進んでいます。平成 18 年は 0～14 歳人口比率が 16%を割り、15～64 歳人口比率も若干低下するなか、高齢者人口比率は 17.6%に上昇しています。

《人口構成（各年 4 月 1 日現在）》



	平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年
65 歳以上	16.1%	16.5%	16.8%	17.1%	17.2%	17.6%
15～64 歳	67.2%	67.1%	67.0%	66.8%	66.8%	66.6%
0～14 歳	16.7%	16.4%	16.2%	16.1%	16.0%	15.8%

『住民基本台帳人口・外国人登録者数』

地区別では、旭地区・大浜地区・新川地区がやや人口が多い状況です。市全体では 0～14 歳の年少人口比率は 16%ですが、人口の多い旭地区・大浜地区・新川地区は年少人口の人数も多くなっています。

《地区別人口（平成 18 年 4 月 1 日現在）》

(上段: 人、下段: %)

	新川地区	中央地区	大浜地区	棚尾地区	旭地区	西端地区	合 計
65 歳以上	3,032	1,505	2,913	1,202	2,336	1,384	12,372
	24.5	12.2	23.5	9.7	18.9	11.2	17.2
15～64 歳	10,202	6,523	10,724	4,052	11,029	5,557	48,087
	21.2	13.6	22.3	8.4	22.9	11.6	66.8
0～14 歳	2,333	1,487	2,464	892	3,027	1,279	11,482
	20.3	12.9	21.5	7.8	26.4	11.1	16.0
合 計	15,567	9,515	16,101	6,146	16,392	8,220	71,941
	21.6	13.2	22.4	8.6	22.8	11.4	100.0

※合計の割合が総人口に占める割合 『住民基本台帳人口』

②人口動向

市の人口は、自然増と社会増により微増していますが、転入による社会増が人口動向の大きな要因といえます。なかでも平成16年は自然増と社会増が近年でも最も多い状況でしたが、平成17年は出生数が700人程度に減少、死亡数が500件を超え、自然増が近年で最も低調で、社会増が600件弱となり、平成14年以降の右肩上がりの増加が鈍化しています。

《人口動向（各年1～12月の累計）》

(人)

	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
出 生	738	770	820	708
死 亡	539	461	490	544
自然増減	199	309	330	164
転 入	2,761	2,978	3,249	3,470
転 出	2,275	2,460	2,544	2,891
社会増減	486	518	705	579
その他増	15	16	21	27
その他減	20	17	14	36
その他増減	-5	-1	7	-9
増減 合計	680	826	1,042	734

『碧南の統計』

外国人登録者数は近年増加傾向が続いており、人口増の大きな要因の一つとなっています。特に平成17年は世帯・人数ともに増加率が高く、近年は子どものいる世帯の転入で、保育サービスなどの利用者も増加傾向といえます。

《外国人登録者数（各年4月1日現在）》

		平成16年	平成17年	平成18年
世 帯 数		1,399 世帯	1,755 世帯	1,926 世帯
登録者数	男	1,485 人	1,799 人	1,960 人
	女	1,193 人	1,381 人	1,457 人
	計	2,678 人	3,180 人	3,417 人

『市民課』

③子どものいる世帯

⇒児童のいる世帯数は増加しているが、核家族世帯の割合が上昇している。

⇒ひとり親家庭も微増している。

⇒核家族世帯やひとり親世帯は子育ての負担感・不安感が高い傾向がみられる。
(次世代アンケートより)

a) 世帯構成

18歳未満の児童のいる世帯数は、平成12年7,508世帯から平成17年は7,610世帯と1.4%増加していますが、世帯構成は同居世帯よりも核家族世帯の割合が上昇しています。特に、6歳未満の子どもがいる世帯では核家族世帯が74%と多くを占めており、平成12年よりも上昇しています。平成15年度に実施した次世代育成アンケート調査（以下「次世代アンケート」という。）においても、核家族世帯が多く、就学前児童の世帯の方が同居世帯割合は低くなっています。

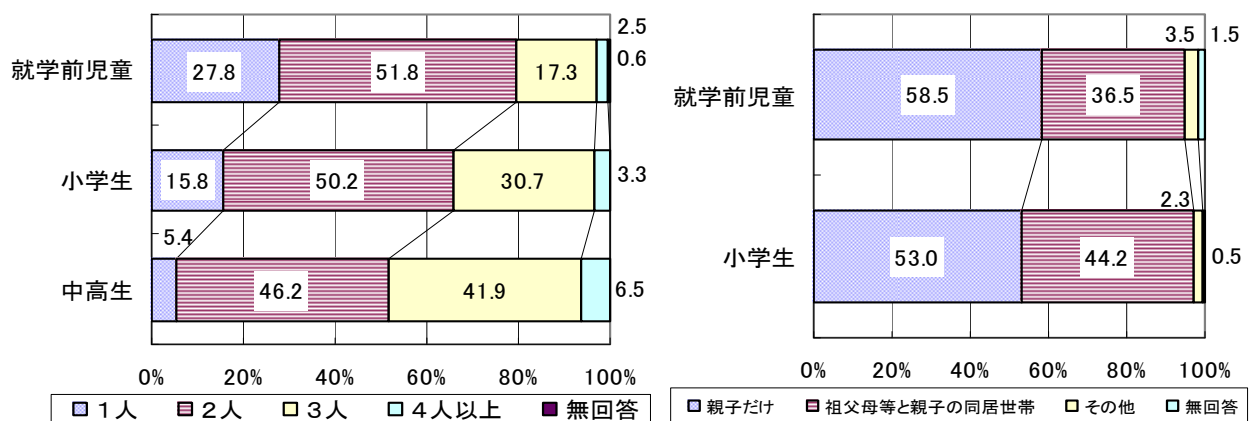
また、ひとり親家庭数も微増しており、平成17年度は546世帯となっています。碧南市では母子自立支援員を児童課に配置し、生活面や就業等の相談に対応するとともに、家庭生活支援員を派遣する日常生活支援事業、一時期間児童福祉施設等で養育する子育て短期支援事業、母子家庭自立支援給付金の支給など、市独自の母子福祉事業を実施しています。

《子どものいる世帯の構成（各年10月1日現在）》

		(世帯)				
		総数	親族世帯 核家族世帯	その他の 親族世帯	非親族世帯	単独世帯
平成12年	18歳未満親族のいる世帯数	7,508	4,445	3,059	0	4
		100.0%	59.2%	40.7%	0.0%	0.1%
平成17年	6歳未満親族のいる世帯（再掲）	3,113	2,007	1,106	0	0
		100.0%	64.5%	35.5%	0.0%	0.0%
平成17年	18歳未満親族のいる世帯数	7,610	5,071	2,536	0	3
		100.0%	66.6%	33.3%	0.0%	0.1%
平成17年	6歳未満親族のいる世帯（再掲）	3,337	2,473	864	0	0
		100.0%	74.1%	25.9%	0.0%	0.0%

※%は総数に占める割合 『国勢調査』

《子どものいる世帯の子ども数と世帯構成》



『次世代アンケート』

《ひとり親家庭の動向》

(世帯・人)

		平成 15 年度		平成 16 年度		平成 17 年度	
		世帯数	遺児数	世帯数	遺児数	世帯数	遺児数
死別	交通事故	3	7	5	9	2	4
	その他	56	101	50	88	49	85
	計	59	108	55	97	51	89
離婚		415	690	419	686	442	740
障害		13	26	7	13	7	14
遺棄		4	7	3	5	2	2
未婚の母		36	41	38	41	38	40
その他		4	12	6	19	6	7
合 計		531	884	528	861	546	892

『へきなんの福祉』

■全国の児童のいる世帯の状況（少子化社会白書より抜粋）■



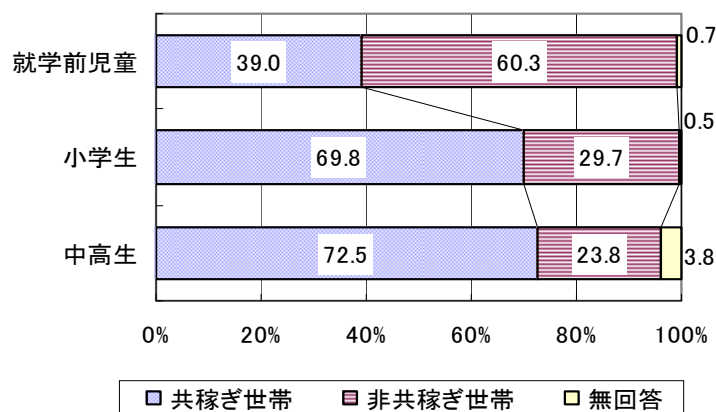
全国の児童（18 歳未満の未婚の者）のいる世帯の状況は、厚生労働省「国民生活基礎調査」によると、2005 年では児童のいる世帯数は 1,237 万世帯で、全世帯の 26%で、その割合が年々低下している。子どものいる世帯のうち、夫婦と未婚の子のみの世帯が 830 万世帯（児童のいる世帯の 67.1%）、ひとり親と未婚の子のみの世帯が 78 万世帯（同 6.3%）、三世帯世帯が 294 万世帯（同 23.8%）となっている。三世帯世帯の割合が漸減する一方で、ひとり親世帯の割合が増加している。

なお、国土交通省の調査によると、既婚者で親と同居しているのは 22%、親が 1 時間以内の近距離にいる「近居」は 52%を占め、遠距離に住むのは 26%となっている。このように夫婦がその親と同居していなくても、半数の家族は、祖父母とその子ども夫婦とが比較的近くで生活していることがわかる。

b) 就業状況

子どもの年齢が上がるとともに共稼ぎ世帯が増えていきます。

《子育て家庭の就業状況》



『次世代アンケート』

■全国の共働き世帯の状況（少子化社会白書より抜粋）■



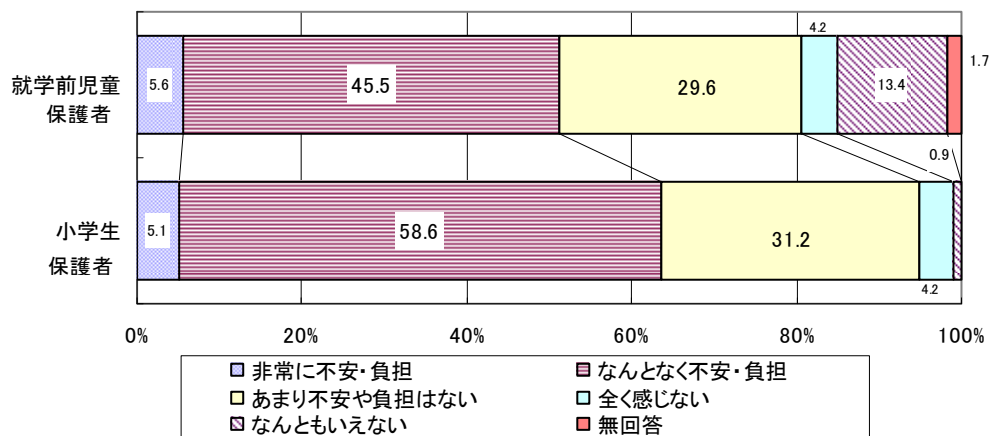
共働き世帯数は、1980 年以降、年々増加しており、1997（平成 9）年に、男性雇用者と無業の妻からなる世帯数（片働き世帯）を上回り、それ以降、その差が徐々に拡大しつつある。2005 年では共働き世帯は 988 万世帯、片働き世帯は 863 万世帯となっている。末子の子どもの年齢が 6 歳以上の子育て家庭においては、半分以上が共働き世帯となっている。

c) 子育て感

次世代アンケートでは、子育て家庭は「子育てになんともなく不安や負担を感じている」割合が高く、小学生の保護者で負担感が強く表れており、就学前児童保護者では「なんともいえない」という回答もみられます。

近くに面倒をみてくれる人がいない、相談できる人がいないことは、子育てをする上で大きな不安となっていることが次世代アンケート等でもうかがえるところであり、子育て支援ニーズは多様化していると考えられます。

《子育ての不安感・負担感（碧南市）》



『次世代アンケート』

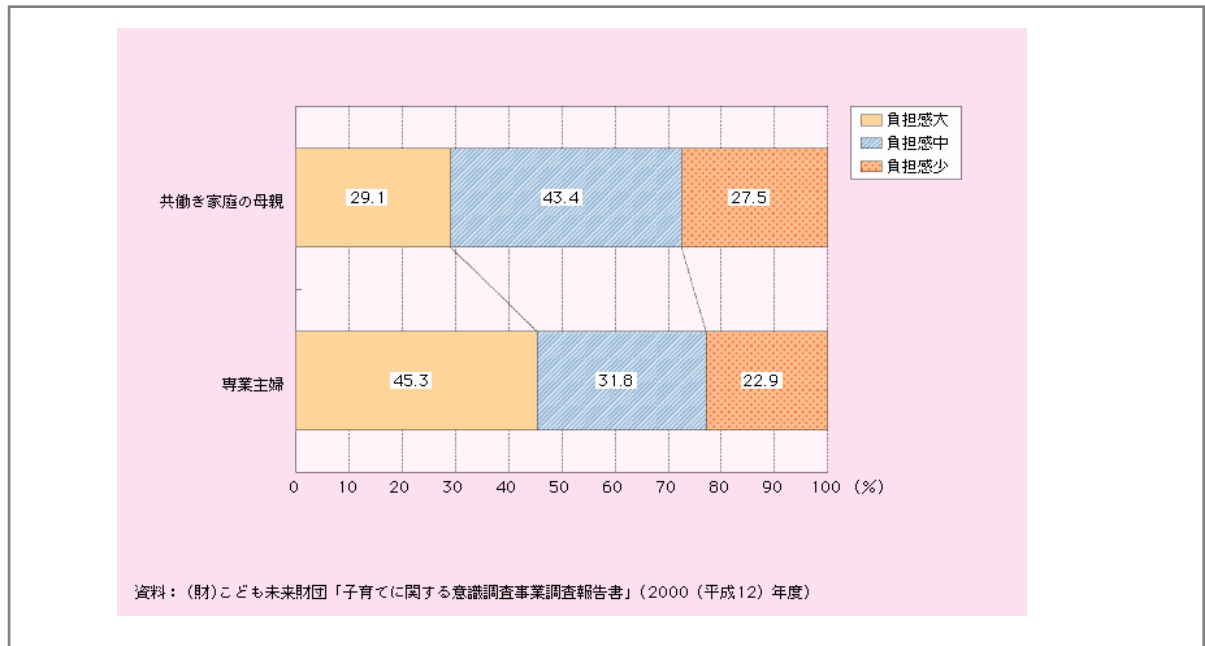
■育児に対する孤立感や疲労感、自信の喪失（少子化社会白書より抜粋）■



財団法人こども未来財団の世論調査によると、いわゆる専業主婦の方が共働き世帯の妻よりも、子育てに対する負担感を感じている人が多い。

厚生労働省「21 世紀出生児縦断調査」（第 2 回：2002（平成 14）年度、対象児年齢 1 歳 6 か月）では、「子どもを育てていて負担に思うこと」は「自分の自由な時間が持てない（63.7%）」、「子育てによる身体の疲れが多い（39.3%）」、「目が離せないので気が休まらない（34.1%）」の順となっている。これを、母の就業別にみると、職に就いている場合よりも「無職」（専業主婦）の方が割合は高くなっている。こうした結果の背景には、夫や他の家族、あるいは外部からの支援が得られないまま、24 時間乳幼児と向きあって、心身両面で育児に追われる妻の姿がうかがえる。

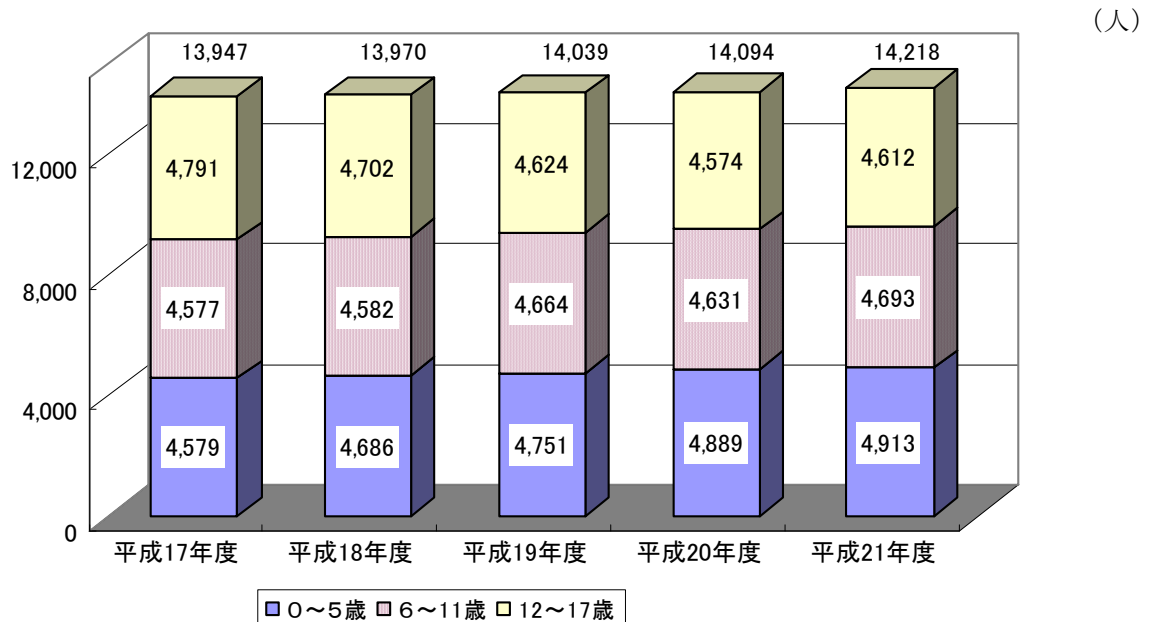
《子育ての不安感・負担感（全国）》



④推計児童人口

0～17歳の児童人口は平成19年度に14,000人を上回り、平成21年度は14,218人と微増が見込まれます。年齢別でみると、11歳以下は増加傾向が見込まれますが、12～17歳の人口は3.7%減少すると推計されます。

《計画期間の推計児童人口》



『ハートプラン』

(2) 幼稚園・学校の概況

市内の幼稚園は公立5園、私立1園の計6園で、平成18年は536人が通園しています。預かり保育は私立幼稚園に続き、公立幼稚園においても実施しています。

市内7校の小学校には、4,472人の児童が通学しており、全ての小学校に特別支援学級が設置されています。また、市内5校の中学校には2,245人の生徒が通学しています。各学年は概ね750人強ですが、小学校1・6年生、中学校1年生は児童・生徒数が若干少なくなっています。

《幼稚園の概況（平成18年5月1日現在）》

(園・人)

園 数			幼児数			
総 数	公 立	私 立	総 数	3 歳児	4 歳児	5 歳児
6	5	1	536	178	189	169

『あいちの学校統計』

『あいちの学校統計』

《小学校の学籍状況（平成18年5月1日現在）》

(人)

		計	新川 小学校	中央 小学校	大浜 小学校	棚尾 小学校	旧進 小学校	鷺塚 小学校	西端 小学校
学 校 数		7	1	1	1	1	1	1	1
学 級	普通学級	136	25	19	22	19	12	23	16
	特別支援学級	14	2	2	2	2	2	2	2
児 童 数	1 学年	731	114	115	112	109	59	137	85
	2 学年	743	141	99	124	101	61	132	85
	3 学年	748	131	109	103	98	71	141	95
	4 学年	758	140	106	126	107	77	115	87
	5 学年	768	160	116	98	110	51	158	75
	6 学年	724	132	96	127	115	53	133	68

『あいちの学校統計』

《中学校の学籍状況（平成18年5月1日現在）》

(人)

		計	新川 中学校	中央 中学校	南 中学校	東 中学校	西端 中学校
学 校 数		5	1	1	1	1	1
学 級	普通学級	64	12	9	19	15	9
	特別支援学級	6	2	-	1	2	1
児 童 数	1 学年	737	151	107	204	182	93
	2 学年	756	153	94	244	177	88
	3 学年	752	146	108	230	176	92

『あいちの学校統計』

(3) 子育て支援策

市では、次世代アンケートや施策を見直すなかから、ハートプランにおいては「子育て家庭のもつ様々な負担感を軽減するための取組み」を重点課題として掲げてきました。

その取組みを「経済的負担の軽減」「共働き世帯の支援」「専業主婦家庭の支援」の3区分で考察すると、経済的負担の軽減としては、保育料の軽減と医療費無料化の実施は大きなものがあると思われます。

共働き世帯の支援としては、延長保育、休日保育、障害児保育、病後時保育、幼稚園での預かり保育など、保育サービスの充実を積極的に図ってきました。児童クラブは7小学校区に設置して実施していますが、定員を超過するクラブが多くなっています。

非共働き世帯（専業主婦家庭）の支援としては、次世代アンケートでもニーズの高かった一時預かりをプチ保育事業として、市内6か所で平成19年度から開始する予定です。その他では、子育て支援センターを2か所、児童センターを2か所確保しており、親子が集まる場として実施しています。また、平成18年度からはファミリーサポート・センター事業を開始しており、側面的に多様な支援となるように施策を実施してきました。

⇒保育料や医療費など子育ての経済的負担の軽減、保育サービス等共働き世帯の支援を計画期間に着実に推進してきた。

⇒定員を超える児童クラブもあり、放課後児童の居場所づくりは課題の一つ。

⇒専業主婦世帯を支援するサービスも始めており、利用を促進していくことが課題である。

①保育サービス

市内には14園の保育所があり、平成18年4月1日現在、保育所に通う子どもは1,938人で、定員（1,930人）に対して100.4%の入所率となっています。高まる保育ニーズに対応するため、乳児保育、延長保育や休日保育、一時保育の実施などを行ってきました。平日19時まで受け入れる保育園が大半となり、土曜日も18時までが多くを占めています。日曜・祝日は1園で受入れています。

＜保育園の概況（各年4月1日現在）＞

（人・園）

		平成16年	平成17年	平成18年
園数	計	14	14	14
	市立	10	10	10
	私立	4	4	4
保 育 士	士	224	289	287
	0歳	19	18	15
	1歳	91	99	108
	2歳	123	149	163
園児数	3歳	553	482	554
	4歳	498	595	505
	5歳	562	506	593
	計	1,846	1,849	1,938

『児童課』

精神または身体に何らかの障害のある児童は、刈谷児童相談センター、碧南市保健センターの指導を受け、碧南市保育所就園指導協議会で検討された後、保育園に入園しており、平成18年4月1日現在63人で、障害のない子どもと共に過ごし、自立にむけた訓練・指導等を受けています。

一時保育は非定型保育サービス、緊急保育サービス、私的保育サービスの内容で、市内2か所で実施してきましたが、平成19年4月より6か所で実施する予定です。

②子育て支援事業

子育てや育児の悩みの相談に電子メールで相談に応じる育児相談事業、就園前の児童と保護者を対象にした園庭開放事業と子育てネット事業などを実施しています。また、碧南市保健センターでは、妊婦健診、乳幼児健診をはじめ、しんまいママのふれあいサロン、歯と栄養のおたんじょうび教室、すくすく教室、育児相談などを実施しています。

③地域子育て支援センター事業

地域子育て支援センター事業は、子育て家庭における育児不安等についての相談・指導、子育てサークル活動の支援を通じて地域全体の子育て支援活動を行うもので、市内ではへきなん保育園とかしの木保育園の2か所で実施しています。

④児童クラブ

市では、保護者が就労などで、家庭において十分に保護することができない小学校低学年（3年生以下）の児童を預かる児童クラブを、7か所で開設しています。また、市内2か所の保育園では、保育園の延長保育事業のなかで小学校低学年児童を受入れています。

通所児童数は年々増加しており、定員を上回っているクラブが半数以上になっており、放課後の過ごし方の検討も含めて、児童クラブのあり方についての検討が課題となっています。

《児童クラブの現況（各年4月1日現在）》

		(クラブ、人)		
		平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年
クラブ数		7	7	7
通所児童数	男 児	198	207	214
	女 児	180	212	216
	計	378	419	430
		(児童課)		

(4) 子どもの居場所（児童厚生施設等）の状況

市では、児童センターを2か所に設置しており、主に就園前の親子と子どもの居場所として利用されています。しかし、次世代アンケートでは、児童センターを利用したことがない保護者の利用しない理由として、「近くにならないから」が最も多く回答されていたことを受け、身近な場所に子どもと親子の居場所が求められているとうかがえます。

また、市内の公園・児童遊園、遊園地、ちびっこ広場は95か所あり、概ね充足していると思われます。一方で、次世代アンケートでは遊び場について「雨の日に遊ぶ場所がない」が就学前児童・小学生ともに50%前後回答されており、屋内での子どもの居場所が増えることが求められていると考えられます。

①児童センター

棚尾児童センターは棚尾公民館に併設しており、児童クラブも児童センターに開設しています。東部児童センターは東部市民プラザに併設しており、午前中は主に就園前の子どもづれに多く利用されており、児童センターを会場にした育児相談等の開催により、乳幼児の利用は増加しています。

≪児童センターの利用状況（累計）≫

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
乳 幼 児	24,039 人	24,788 人	25,907 人
小 学 生	10,285 人	10,084 人	9,876 人
中 学 生	381 人	407 人	476 人
そ の 他	29,549 人	28,087 人	19,743 人
総 数	64,254 人	63,366 人	56,002 人

(児童課)

②公園・児童遊園

市内には44の公園・緑地と、児童遊園が9か所、社会福祉協議会管轄の遊園地が13か所、ちびっこ広場が29か所（平成18年3月末現在）あります。

公園・緑地一覧

平成18年3月31日現在

記号	名 称	設 備 ・ 遊 具	住 所	地図座標
あ	川口公園	トイレ・水道・あずまや・噴水・時計・木製遊具・バーベキュー・モニュメント	碧南市川口町1-184-1	D-2
い	権田公園	身障者対応トイレ・水道・東屋・複合遊具	碧南権田土地区画整理地内	D-2
う	入船公園	身障者対応トイレ・水道・バーゴラ・滑り台・ブランコ・鉄棒・回転遊具	碧南市入船町4-63	D-2
え	下山公園	身障者対応トイレ・水道・あずまや・バーゴラ(藤棚)・滑り台・ジャングルジム・ブランコ・モニュメント	碧南市入船町1-60	D-2
お	一ツ橋公園	身障者対応トイレ・水道・あずまや・時計・バスケットボールリング・ジャングルジム・低鉄棒・スプリング遊具	碧南市入船町7-34	D-1
か	岬北公園	身障者対応トイレ・水道・あずまや・ブランコ・回転遊具・鉄棒・シーソー・滑り台・ジャングルジム	碧南市岬町1-64	D-1
き	岬公園	身障者対応トイレ・水道・バーゴラ・滑り台・ブランコ・鉄棒	碧南市岬町5-78	D-1
く	雨池公園	身障者対応トイレ・水道・あずまや・木製遊具・アーチ・築山	碧南市雨池町1-27	C-2
け	川端公園	トイレ・水道・あずまや・バーゴラ・複合遊具	碧南市川端町2-13	C-2
こ	若宮公園	身障者対応トイレ・水道・バーゴラ・滑り台・ブランコ・鉄棒	碧南市若宮町7-19	C-2
さ	志貴崎西公園	身障者対応トイレ・水道・バーゴラ・ブランコ・滑り台・ジャングルジム・シーソー・回転遊具	碧南市志貴崎町5-9	C-3
し	志貴崎公園	身障者対応トイレ・水道・バーゴラ・ブランコ・滑り台・鉄棒・回転遊具・バスケットボールリング	碧南市志貴崎町3-48	C-3
す	長富公園	身障者対応トイレ・水道・あずまや・噴水・小型木製遊具	碧南市春日町3-85	C-2
せ	源氏神明公園	身障者対応トイレ・水道・バーゴラ・時計・木製遊具・ブランコ・滑り台・小山	碧南市源氏神明町122	C-3
そ	沢渡公園	グラウンド・身障者対応トイレ・水道・噴水・時計・木製遊具・ブランコ・滑り台	碧南市沢渡町194	C-2
た	日進南公園	身障者対応トイレ・水道・バーゴラ・ブランコ・回転遊具	碧南市日進町4-4	C-3
ち	日進公園	身障者対応トイレ・水道・ブランコ・滑り台・ジャングルジム・築山	碧南市日進町2-85	C-3
つ	伏見公園	身障者対応トイレ・水道・ブランコ・滑り台・ジャングルジム・鉄棒・築山	碧南市伏見町4-15	C-3
て	矢作川桜づつみ	トイレ・バーゴラ4基・駐車場	碧南市三角町地先	C-4
と	池下公園	身障者対応トイレ・水道・あずまや・ブランコ・砂場・スプリング遊具・築山・芝生広場	碧南東部土地区画整理地内	B-4
な	照光公園	身障者対応トイレ・水道・シュルター・複合遊具・スプリング遊具	碧南東部土地区画整理地内	B-4
に	尾城公園	トイレ・水道・あずまや・ローラー滑り台・ジャングルジム・ブランコ・広場・バスケットボールリング	碧南市尾城町2-9	B-3
ぬ	水源公園	身障者対応トイレ・バーベキュー広場・洗場	碧南市鷺塚町7	B-4
ね	野田公園	身障者対応トイレ・水道・バーゴラ・ブランコ・ジャングルジム・滑り台・時計・ローラーすべり台	碧南市野田町80	B-2
の	天王公園	身障者対応トイレ・水道・バーゴラ・複合遊具2ヶ所	碧南市天王町2-30	B-2
は	栄公園	身障者対応トイレ・水道・バーゴラ(藤棚)・ブランコ・ジャングルジム	碧南市栄町2-60	B-2
ひ	末広公園	身障者対応トイレ・水道・バーゴラ・あずまや・築山・ブランコ・ジャングルジム・滑り台・シーソー・回転遊具・時計	碧南市末広町2-34	B-2
ふ	末広東公園	身障者対応トイレ・水道・ブランコ・滑り台・築山・平和用水記念碑	碧南市末広町4-38	B-2
へ	宮後公園	身障者対応トイレ・水道・あずまや・ブランコ・ジャングルジム・滑り台	碧南市町4-38	B-2
ほ	道場山西公園	身障者対応トイレ・水道・バーゴラ・グラウンド・ブランコ・滑り台・鉄棒・シーソー	碧南市道場山町1-22	B-2
ま	踏分公園	トイレ・水道・バーゴラ・あずまや・時計・木製遊具・ローラーすべり台	碧南市踏分町1-101-1	B-3
み	相生公園	身障者対応トイレ(ベビーシート有)・水道・あずまや・小型木製遊具	碧南市相生町2-34-21	A-2
む	六軒町公園	トイレ・水道・バーゴラ(藤棚)・広場・ブランコ・ジャングルジム・滑り台	碧南市六軒町4-38	A-2
め	久香公園	トイレ・水道・木製遊具・ごみ箱	碧南市久香町4-93-1	A-2
も	油ヶ渚遊園地	トイレ・水道・あずまや・花しょうぶ園	碧南市油渚町2-72	A-4
や	札木公園	身障者対応トイレ・水道・木製遊具	碧南札木土地区画整理地内	A-4
ゆ	明石公園	身障者対応トイレ・各種有料遊具	碧南市明石町・松江町	A-2
よ	碧緑地	あずまや・遊歩道	碧南市須磨町3-9	B-2
ら	碧公園	グラウンド・トイレ(ベビーシート・チェアー有)・水道・あずまや・時計	碧南市須磨町2-10	B-2
り	須磨海岸緑地	トイレ・水道・あずまや・時計・コンビネーション遊具	碧南市須磨町1-18	B-1
る	碧南緑地	トイレ・あずまや・モニュメント	碧南市港本町	C-1
れ	玉津浦緑地	トイレ・水道・あずまや・ジャングルジム・滑り台・鉄棒・ブランコ	碧南市港本町4-54	C-1
ろ	権現崎灯台緑地	あずまや	碧南市権現町4-125	D-1
わ	港南緑地	釣り広場・大砂場・身障者対応トイレ・時計・あずまや	碧南市港南町2-8-16	D-1

児童遊園一覧

平成18年3月31日現在

記号	名 称	設置場所	地図座標
①	前浜児童遊園	前浜町1-80 (稲荷社)	D-2
②	玉津浦	宮町5-47 (熊野大神社)	D-1
③	弥生町	弥生町3-138 (八柱神社)	C-2
④	霞浦	東浦町4-7 (神明社)	C-3
⑤	浜尾町	浜尾町4-84	B-3
⑥	鷺塚	鷺林町2-106 (天満社)	B-4
⑦	荒子	笹山町3-34 (神明社)	B-3
⑧	西山町	西山町7-115 (御鋸社)	A-3
⑨	油ヶ渚	湖西町5-37 (応仁寺)	A-4

ちびっ子広場一覧

平成18年3月31日現在

記号	名 称	設置場所	地図座標
①	川口町ちびっ子広場	川口町1-24-1	D-2
②	浜田町	浜田町3-13	C-2
③	港本町	港本町1-1	C-1
④	源氏町	源氏町4-17-2 (琴平社)	C-2
⑤	汐田町	汐田町5-28	C-2
⑥	流作町	流作町1-11-1	C-4
⑦	陣屋跡	羽根町1-65	C-2
⑧	善明町	善明町1-48-1	C-2
⑨	日進町	霞浦町2-88	C-3
⑩	大浜上町	大浜上町5-19	C-2
⑪	鷺林町	鷺林町4-16-1	B-4
⑫	幸町	幸町6-3-1	B-3
⑬	天王町	天王町7-26 (津浦神社)	B-2
⑭	新須磨町	大浜上町1-3-1	B-2
⑮	中山町	中山町2-25	B-3
⑯	上橋	鷺塚町3-95	B-4
⑰	中後町	中後町2-110	B-3
⑱	堀方町3丁目	堀方町3-48-11	B-3
⑲	東山	金山町4-6 (秋葉神社)	A-3
⑳	相生町	相生町1-70	A-2
㉑	北新川	六軒町5-13	A-2
㉒	丸山町	丸山町6-63-2	A-2
㉓	六軒町	六軒町1-51-5	A-2
㉔	久杵町	久杵町1-5 (白山社)	A-2
㉕	半崎町	半崎町3-62 (八剣神社)	A-4
㉖	荒居町	立山町4-18	A-3
㉗	上町	上町2-25	A-4
㉘	大坪町	大坪町3-50	A-4
㉙	大久手町	大久手町4-9	A-4

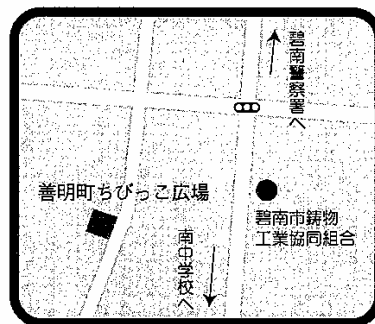
社会福祉協議会管轄の遊園地一覧

平成18年3月31日現在

記号	名 称	設置場所	地図座標
㉑	中区民館広場遊園地	中町3-31	C-2
㉒	家下	平七町5-23	C-3
㉓	南町内会館	神有町5-72	B-4
㉔	道場山神明社	宮後町2-25	B-2
㉕	鷺塚願随寺	鷺塚町5-45	B-4
㉖	等覚寺	荒子町5-28	B-3
㉗	浅間社	浅間町4-54	B-2
㉘	浜尾住吉神社	住吉町3-40	B-3
㉙	千福斎宮社	千福町3-3	B-3
㉚	鶴ヶ崎	山神町7-40	B-2
㉛	東松江神社	相生町5-57	A-2
㉜	東山	東山町2-1	A-3
㉝	西松江稲荷社	松江町1-10	A-2



H18年4月より新設された善明町ちびっ子広場



(5) 子育て・子育てを支える地域の力

⇒地域が子どもの育ちに関わる、子育てを支える活動をさらに展開していくためには地域の子育て支援団体の拡充、活動支援がポイントである。

現在確認されている、地域の子育てに関連する任意団体は8団体です。子育て家庭のニーズが多様化し、地域の関わりが重要視されるなか、地域に密着して子どもの育ちと子育てを応援する活動と担い手を拡充することが課題であり、このような団体が増え、活動が活発化するように支援していくことが課題です。

《任意団体（平成18年度）》

名 称	活 動 内 容
NPO法人さわやか碧南 子育て支援隊「ぴよっこ」	家庭で子育てしている親子さんに日本の伝統を土台にわらべ歌・絵本・体で遊ぼうを重点に「子育てって楽しい」と思える遊び、接し方を学べる場・子育て情報等を提供するサロンを開催している。
さくらんぼキッズクラブ	親子でふれあいながら体力あそび、ダンスなどする。ママだけのフィットネスタイムもある。未就園児とその保護者を対象にして開催している。
特定非営利活動法人 一粒の種	知的障害や自閉症の幼児（3歳）から学童を対象に、スキル向上を目的とした「言葉や数の学習」など、発達段階に応じて個々に学習プログラムを作成することによる療育的支援を行う。
NPO法人けんこうのわ 碧の木・親子アイデア C体創教室	乳幼児はあそびの天才への回帰を、親、大人は見守りあそばせ名人をめざして、個別のペースを大切にしながら集団遊びへと展開。ママリフレッシュタイムはエアロビクス。毎週1回活動している。
ママとベビーのエクサ サイズ	「公園デビューは少し早いし・家の中にいるのは」というママのために赤ちゃんのマッサージやエクササイズをしている。そのいい刺激は赤ちゃんの運動面だけでなく、心や知的な発達も促す。
キッズ・エアロビクス 同好会	毎週火曜日に鷺塚公民館2Fホールで活動中。初心者も大歓迎。午後4時～幼児・小学生の部（体力向上、リズム感、仲間作り）午後1時半～ママの部（独身も可、年齢制限なし。ストレス解消）
おしゃべり会	障害を持つ子らの家族等が集まり、様々な悩みや疑問を話し合ったり、生活の情報交換をしたり。また、ボランティアさんを招いて、親子で体育あそびや音楽療法あそび等計画し行っている。
碧南おやじの会連絡会	おやじの会は父親が子育てに関わろうと、様々な親子ふれあい体験活動を行っている。碧南市には棚尾・新川・西端・日進・鷺塚・中央の6地区におやじの会がある。

『子育てナビゲーション』